

30インチの…… MCD-530型 コンクリートカッター



最大30インチのブレードが取付可能な三笠最大級のコンクリートカッター、MCD-430DX型がマイナーチェンジし、MCD-530型として登場しました。

操作性の良い油圧走行方式を踏襲

このMCD-530型コンクリートカッターは、従来のMCD-430DX型と同様に油圧トランスミッションによる油圧駆動方法を採用し、走行の確実さとメンテナンス性を向上させております。

1本の走行レバーで前後進の切り替え及び任意の速度調整が出来る自走式です。また、自動切削以外にも手動ハン仕様

型 式		MCD-530
機体寸法	全 長	1418mm
	全 幅	701mm
	全 高	1114mm
装備質量		400kg
使用ブレード寸法		305mm(12")~760mm(30")
ブレード軸径		27mm
最大切断深さ		300mm
切断深度調整装備		手動スクリュウ式
走行方式		自走式
水タンク容量		10ℓ
原動機	型 式	ロビンEH72DS 4サイクルガソリンエンジン
	最高出力	18.4kW(25PS)

ドルでの手動切削も可能です。機体の回送は、エンジンの回転数を2000r.p.m.にセットの条件で前進1.5km/h、後進0.7km/hの速度で移動が可能です。

最大30インチのブレードが取付可能

切削方式は、Vベルトを介してブレードシャフトを回転させ、切削ブレードで切削するものです。最大30インチのブレードまで取付可能です。

定評のあるロビンエンジンを搭載

搭載するエンジンは、ロビンEH72DS(18.6Kw(25PS)/3600r.p.m.)空冷4サイクルV型2気筒OHV式ガソリンエンジンです。始動方式はセルスタート式で、走行レバーが停止位置以外ではエンジンがかからないセーフティスタータースイッチを装備し、エンジン始動時の危険を防止しております。また、エンジン潤滑油が不足した時に警告する油圧警報ブザーは、キースイッチの切り忘れ防止用としても役立ちます。

使いやすさを追求した機能

前照灯を標準装備し、日没後の作業が大変楽になりました。日中の作業でも点灯しておけば他の作業員への危険防止となります。

その他、使用時間がひと目で分かるアワーメーターを、また使用ブレードを適性回転数に合わせられるエンジン回転計を標準装備しております。

安全のための機構も充実

このMCD-530型コンクリートカッターに搭載しているミッションには、デフロック機構が付いております。この機構は切削作業時の直進安定性を出すもので、デフロックを解除しますと、パネルのデフロックランプが点灯し、機体の旋回や切削時のライン合わせが楽に出来ます。

また、駐停車時に必要なドラム式駐車ブレーキがミッションに装備されており、操作パネル下の駐車ブレーキペダルを足で踏むことにより作動します。解除する時は、ブレーキペダルを逆に踏むか手でペダルを持ち上げることで可能。

水タンクが取付可能(オプション)

車体中央にある一点吊りフックは、バランスが良く、積み込み積み降ろしに便利です。

また、オプションで10リットルの水タンクを取り付けることが可能で、水



藤田嗣治という文字が目につくと、ある種に親しみを覚える。ほのぼのとした心の高揚といったほうが良いかも知れない。原因を探るとそれは若き日への郷愁に行きつく。戦後復興未だしの頃、手当たり次第にむさぼり読んだ本の一冊に福島繁太郎著『エコール・ド・パリ』があった。多国籍ボヘミアン貧乏芸術家たちの群れ。自由奔放でんでんばらばらの芸術行動だが、友情の輪をモンパルナスに花開かせた。その中に藤田嗣治という日本人の名があった。エコール・ド・パリ。「パリ派」と訳して私は自己満足し、行けるわけもない遠いフランス・パリへの憧れと恍惚に溺れて読みふけた。

三笠産業へ入社し出張が多くなった頃、寸刻を盗んで入館した秋田市の「平野政吉美術館」で出合った藤田嗣治の巨大な作品群に驚嘆、しばし我を忘れたこともある。今年は生誕120年記念として藤田嗣治展が東京国立近代美術館で開催(3/28~5/21)された。こればかりは見逃せないぞと、人混みを敬遠しがちな老身に鞭打ってあの長い行列につき、都会の集客力の強さに苦笑したり少々苛立ちながら入館を待った。

「エコール・ド・パリ」と藤田嗣治を知って半世紀余り、読んだり見たたりしたその作品実物の集大成だった。わが若き日々への郷愁にとっぴり浸かり得たのはむしろだが、同時にこの画家の果てもない強烈な芸術魂にふれて感銘を覚えた。戦争画を描いたゆえに軍国主義協力者の刻印を押した人々。藤田の芸術魂を感知できなかった戦後知識人の軽薄さ。

あの巧みな線描を駆使した乳白色の裸婦や猫なども含めて、実物を堪能できたのは今年の五月の大きな喜びとして残っている。

ホースを取り付けての作業が困難な場合などに便利です。

以上のように、MCD-530型コンクリートカッターは、数々の優れた特徴を持っておりますので、是非御愛用いただけますようお願い申し上げます。

実りある集い 第49回笠友会総会開催

5月12日(金)、13日(土)の両日、第49回笠友会総会が兵庫耐震工学研究センター視察および京都市内観光を兼ねて開催された。

三笠産業の協力会社の皆様方、総勢52名と供に羽田空港を発ち一路伊丹空港へ、バス2台に分乗し最初の視察先である兵庫県三木市にある独立行政法人防災科学技術研究所、兵庫耐震工学研究センター(E-ディフェンス)に向かった。

同センターは、広大且つ緑豊かな三木総合防災公園の一角に位置し、この公園の中には防災に関係する各種関連施設の他運動競技場等も併設され、ま



た有事の際は避難場所としての機能も兼ね備えている。平成7年の阪神淡路大震災を教訓に造られた施設で、実験棟の中に実際の建物を建造し三次元振動を発生させ、実際の地震波に極めて近い振動を建物に与え、各種の研究に役立てている。昨今、建物の耐震強度偽装問題が大きな社会問題になっている為か、ご参加の皆様も興味深く見学している様子であった。

その後、大阪市内に向かい当社の子会社である三笠建設機械㈱の本社、サ

ービスセンターを見学した後、同会議室で総会が行われた。

冒頭、当会の鈴木会長より、「現在の経済状況は新聞紙上で好決算が発表されているように、大企業中心にリストラ、過剰設備、過剰債務の解消等で好業績を収めております。しかし、我々はいまだに景気が良いという実感がさほどわからない状況が続いておりますが、お互い一致協力し業績を伸ばして行きたい」との開会のご挨拶を頂いた。

次に当会の特別顧問であります京谷社長より、会員皆様の日頃の生産に対するご協力のお礼、昨年8月に完全子会社にいたしました三笠建設機械の会社概要および三笠産業の今年度の業績ならびに来年度の営業方針の説明が行われた。引き続き当会の事業報告および会計報告等の審議が行われ、最後に

小師理事より次期50周年の記念総会の開催に関する意見が述べられ、閉会の挨拶と共に総会は終了した。

その後、本日の宿泊場所である京都ロイヤルホテル&スパへ移動し、ホテル近くの料亭で懇親会が行われた。庭園と京料理を堪能した懇親の宴も、二次会のお開きで本日の全ての日程が無事終了した。

翌13日は小雨模様の中、京都の市内観光が行われた。久しぶりの京都は、桜の時期はすでに終わっていたが、小雨に濡れた木々の若葉が眼に優しく、古刹に流れる悠久の時を感じながら、周りの“心が洗われるな”の言葉にうなずきながら世界文化遺産を次々と見学し、楽しい一日を過ごした。出席者の皆様大変お疲れ様でした。

総務部 小谷記

英語版ホームページを刷新しました！

弊社のホームページは近年、海外からのアクセスが非常に増えております。そこで、今まで日本語ページの付け足し的存在であった英語のホームページをリニューアルし、海外のお客様にも迅速に、正確に三笠の情報を発信できるように致しました。

「www.mikajas.com」で最初に開くページに日本語ページ、英語ページの入り口ボタンを配置し(写真①)、最短で英語ページもしくは日本語ページにたどり着けるように致しました。

英語版にお越しいただくと、最初のページは写真②のようになっています。前面には「テーマ画面」が配置しており、左上のmikasaマークをクリックすると紙芝居のように画面が切り替わる仕掛けとなっています。それぞれの画面はキーワードに沿った画像で構成されています。(写真②はSupport)各キーワードの内容を簡単にご説明しますと

「Think Harmony」

人、機械、社会など環境との共生、調和を志向する三笠の理念を表明したものです。工場の残留塗料浄化処理施設、騒音規制対応機械、手元振動を軽減するモデルなどを、環境経営の視点で紹介しています。

「World Wide」

1960年代半ばより、東南アジア各国を中心とした輸出が活発となり、現在では60カ国以上に販売代理店を設定しております。画像では、各国で使用されている三笠の機械を紹介しています。

「Reliability」
「信頼性」という意味の英語です。厳格な設計と徹底した品質管理の下に市場に送り出される三笠製品は、お客様からの強い信頼に支えられています。

「Established」
「確立された」という意味で、創業1937年以来、小型建設機械の製造販売に特化、邁進してきた歴史をセピア色の写真で振り返っています。

「Support」

三笠の持ち味は、アフターサービスに代表される誠意あるサポート体制です。部品の迅速な供給はもとより、販売、修理サービス講習会の実施など、数々のプログラムで代理店の方々をバックアップしています。

このほか、トップページでは、インフォメーションとして、最新の情報を中心に画面を埋めるようにしています。新製品の情報や、開催予定の展示会情報、実際の展示会レポートを掲載しています。

Products(製品)では、英文のカタログを補完できるように、製品の仕様や最新の情報をいち早く掲載しています。トップメニューから部品検索のページ(Service-PartList)にジャンプできるのは、日本語ホームページと同じです。CompanyProfile(会社情報)では、文字通り弊社の歴史や、組織、施設等の紹介がされています。Global Networkのページは各国代理店名が国旗、アイコンとともにリストアップしており、トップページの世界地図でご希望のエリアをクリックする

写真①



写真②



と、その地域の代理店リストに連動するようにしています。

以上、簡単に英語版ホームページを紹介いたしました。日本のお客様も是非英語版ホームページを訪れてみてください。これまでの三笠と違った面を発見していただけたと思います。



斉藤 秀郎
開発部
開発四課

開発部に所属し、プレートコンパクター、バイプロコンパクターに関する業務に取り組んでおります。

学生時代はラグビーボールと共に4年間を過ごしまして、その中で、名古屋で行われた全国大会では2度の優勝を経験出来ました。

ラグビーで得てきた体力を生かし、日々、勉強を積み重ね、視野を広く持ち、多くのことを吸収し、それにより発信していきたいと思っております。



岡部 勇
営業サービス部
サービス課

営業サービス部サービス課に配属されました岡部勇です。

私は転職で三笠産業に入社しました。

今年の新入社員です よろしくお願ひします

前職は舗装工事の機械オペレーターをしていました。三笠の製品を使っていた訳ではないのですが、父が三笠の関係者なので、幼い頃から三笠マークには親しみを感じていました。

今のところ三笠産業はとてもいい会社だと思っていますが、楽しいことばかりではないと思います。同期入社した5人で助け合い、励ましあひながら知識、技能を磨いて、諸先輩方、お客様の役に立てる様頑張りたいと思います。



黒田 海斗
海外営業部
海外二課

海外営業部海外二課に配属され、貿易実務を見習いながら、オセアニアと中近東の部品出荷を担当しています。

ハルピン生まれの私は7年前に中国

から留学生として来日し、日本語専門学校から始め、大学院を修了し、4月に三笠産業に入社しました。

現在、日中関係はあまりよいとはいえませんが、私は日本で中国人でもなく、日本人でもなく、三笠産業の一員として、自分の仕事に取り込んで行きたいと思っています。



上田 伸治
品質管理部
管理一課

技術研究所品質管理部管理一課に配属となりました上田伸治と申します。

出身は山口県の宇部市です。学生時代はサイクリング部に所属し、長期休暇には自転車で行く日本中を走り回っていました。最近はギターを始め、流行の曲を弾けるように日々練習しています。

配属されたばかりなので、毎日が驚

きの連続です。今の目標は一日も早くCADを使いこなし、良い製品を送り出せるようになりたいと思っています。未熟者ですが、これからどうぞよろしくお願い致します。



安藤 宏
営業サービス部
サービス課

部品サービスセンターサービス課に配属になった安藤宏です。今は部品課で頑張っています。

趣味はサッカーとドライブで、車の中にはいつもサッカーボールがあります。

三笠産業に入社して感じたことは、製品も素晴らしいですが、先輩方の人柄がいい事です。入社したばかりでわからない事が多いので「今、自分に来る事」を率先してこなし、少しでも会社に貢献し、レベルアップしていきたいです。宜しくお願いいたします。

今年もMQ社優秀セールスマン来日

昨年に引き続き、今年も米国代理店であるマルチクイップ社の優秀セールスマンが来日した。この企画は同社セールスマンのモチベーションを高めるとともに同社の取扱いメーカーをより深く理解してもらうという目的で三笠とデンヨー株式会社、株式会社マツザカエンジニアリングの日本メーカー3社協賛により実施された。

今回は2005年の販売実績を対象に5名のセールスマンが参加した。2005年の実績は過去最高の売上を記録した2004年実績を更に大幅に上回る成績で三笠の売上にも大きく寄与し、初めて輸出比率が50%を上回ったという説明にまんざらでもない様子であった。三笠としても売上が示す通り、ランマー、プレート、前後進パイプロ、ローラーの各部門で過去最高の実績を記録した。

5月にしては雨の日の多い中での日程



であったが皆さんの普段の行いが良いせいか雨雲も遠慮してくれた様である。館林工場では加工ライン、組立てラインの両工程を見学してもらった。また、仕入れ素材検査工程を見て戴き、三笠の品質管理には十分納得して戴いたようである。

今後の戦略商品として開発を進めている新製品のデモンストレーションでは今回来社された皆さんからお褒めの言葉を戴きその販売に意を強くした次第である。

工場見学後は鬼怒川温泉に宿を取り、温泉と畳ルームという日本の文化

を堪能して戴いた。仕事の都合で1日遅れの来日となったT氏も合流したことで宴席も盛り上がり、今回来日のメンバーは2名が昨年に続いての来日で日本食にも慣れてはいたが、意外にも焼酎のオンザロックに人気があり、和気藹々のうちに温泉宿の一夜を過ごした。飲んだ席の話とは言うものの「今年の販売もすこぶる好調で、3年はこの好景気が続くのでは」との力強い言葉を聞き、彼等なら今年もやってくれるとの思いで心地よい眠りについた。

翌日は日光東照宮、江戸村を見学した後、東京への帰路に着いた。別れ際には「また、来年も日本にきたい」との言葉を聴き、今回の目的が果たせたと安堵した次第である。末筆ながら伊藤忠商事株式会社の関係者の皆様には一方ならぬご助力、ご協力を賜ったことで無事にこの企画が終了できましたことを改めて紙面をお借りしてお礼申し上げます。

海外営業部 加瀬

技術教室



建設機械の排ガス規制が強化されたようですが、三笠の製品は該当しますか？

説明が若干長くなりますので、まず結論を先に申し上げておきますと、弊社の製品は今回の規制には該当いたしません。

1、背景

産業革命以降、化石燃料の使用増加に伴って地球の温暖化・光化学スモッグ・酸性雨・オゾン層破壊等をひき起こし地球環境が急速に悪化しております。エンジンから排出される有害成分としては二酸化炭素、窒素酸化物（NOx）、炭化水素、一酸化炭素や粒子状物質（PM）等が有り、特にディーゼルエンジンから排出される窒素酸化物（NOx）および粒子状物質（PM）は発がん性や気管支炎等の健康被害が懸念されているため、自動車（オンロード用自動車）に関しては平成15年からいわゆるディーゼル規制が実施されております。

2、これまでの経緯

建設機械の排ガス規制に関してはこれまで、ホイールクレーンやホイール型のバックホウなど、ナンバーを取得して公道を走行できる特殊自動車（オンロード車）は道路運送車両法による車としての排ガス規制（平成15年）を受けています。しかし、ブルドーザやクローラ型のバックホウなど、公道を走行しない車両系建設機械や発電機やコンプレッサ等可搬式の建設機械には法による規制はなく、国交省の直轄工事には入れないな

どの行政指導にとどまっていた。

しかし、公道を走行しない特殊自動車による大気汚染物質の排出寄与度は無視できないことから建設機械も対象となる「特定特殊自動車排出ガス規制等に関する法律」いわゆるオフロード法が導入され、今年の4月1日から施行されました。

3、規制の対象

今回建設機械の排ガス規制の対象となる特定特殊自動車とは、公道を走行しない自動車であって

- ①道路運送車両法で規定される大型特殊自動車及び小型特殊自動車
 - ②建設機械抵当法で規定される建設機械に該当する自動車その他構造が特殊な自動車
- とされています。従いまして当社の製品でディーゼルエンジンを搭載しているローラーやランマーあるいはパイプロコンパクター等は除外されています。発電機やコンプレッサも今回は対象にはなっていません。

4、海外の規制

日本の場合、現時点ではオンロード／オフロードの自動車に限定していますが、欧米では建設機械、農業機械、産業車両、機関車、発電機等をノンロードの機械として一つの制度で取り扱っています。全生産量の半数以上を海外市



適正燃料の使用を
呼びかけるパンフレット

三笠がある風景

機 場
種 所
撮影者
須田 功さん
(三笠産業株式会社 生産管理部)

奥さん孝行をかねて出かけたヨーロッパ旅行。ベルサイユ宮殿を見学中に見かけました。まさに『世界の三笠』を実感しました。

[写真募集中]

自慢の一枚に撮影メモをつけてお寄せ下さい。採用分には記念品を贈呈します。



場に提供している三笠産業としては、常にその国や地域の規制を先取りし対応した製品を提供しております。

5、ディーゼルエンジンについて

一般的に、ディーゼルエンジンはガソリンエンジンと比べると、熱効率が高く燃費が良い上、二酸化炭素・一酸化炭素・炭化水素の排出が少ないですが、ガソリンエンジンでは発生しないPMを排出してしまいます。この対策を完璧に行えば、ディーゼルエンジンの方が優れている訳で、議論の分かれるところです。日本では、車や小型汎用機械はガソリンエンジンへと進んでおりますが、ヨーロッパでは急速にディーゼルエンジンにシフトしております。その国の燃料の質にも影響しておりますので、批判できない面もあります。

6、適正燃料の使用

規制の有無に関わらず、環境を第一に考えた時、建設機械の使用上の注意点として、特にディーゼルエンジンの排

気ガスを劣化させない為に、お客様による適切な使用が必要になってきます。

- ①燃料に、灯油や重油及び低セタン価等の粗悪軽油を使用してはいけません。
 - ②エンジン回転数及び燃料噴射量を規定値以外に調整してはいけません。
 - ③定期的にエアークリーナー・オイル・オイルフィルター・燃料フィルター等を清掃及び交換して下さい。
 - ④寒冷地及び高地等で御使用になる場合は、特に暖気運転を十分行って下さい。
- 上記注意点を怠りますと、排気ガスが悪化するだけでなく、燃料噴射ポンプが詰まったり、ヘッド内にカーボンが付着する等エンジン寿命を極端に低下させますので、御注意下さい。

7、おわりに

弊社は、常に地球環境保護の為、積極的に低排気ガスエンジンを搭載してまいります。「人と地球に優しく」、三笠の永遠のテーマです。今後共、三笠製品御愛顧の程宜しく御願ひ致します。

EE東北新技術展で アスファルト舗装面取 工法用面取切削機公開

5月24日～25日に宮城県多賀城市においてEE東北'06・新技術展示会が開催されました。この展示会は、建設分野及び建設関連分野に関する新材料・新工法などの時代のニーズに対応して開発された新技術を発表・公開するものです。

三笠産業ではこの展示会にアスファルト舗装の面取工法専用機MCV-727型を出展いたしました。面取工法はアスファルト接合面の剥離を最小限にとどめる為に従来の垂直カッターで切断した後、舗装面を特殊ビットで斜めに面取をする工法で、これにより、面取り部分に凹凸ができる為、接合面を更に強固なものとし、剥離を予防します。この工法は福島県においては既に認定されています。

展示会では、実演機で実際に舗装の面取りを行い、地元宮城県や、青森県、山形県などの役所関係の方々や工事業者の方々に見ていただきました。三笠産業では各地で面取り工法の説明会を行い、普及活動にも力を入れておりますので、近い将来、全国で三笠の面取



切削機が活躍する日が来ると確信しております。

なお、MCV-727型面取切削機の詳細は次号三笠ニュースでご紹介いたします。

開発部 須永記

(株)アクティオ九州支店 八幡、大分、甘木の 3営業所を開設



八幡営業所



甘木営業所

株式会社 アクティオ様（代表取締役社長 小沼光雄様 本社・東京都千代田区岩本町1-5-13）に於かれまして、4月1日に八幡営業所（福岡県北九州市八幡西区）、大分営業所（大分県大分市海原）の2店舗、4月10日には甘木営業所（福岡県朝倉市牛鶴）をオープンされました。

これにより株式会社 アクティオ九州支店（支店長 中島嘉幸様・九州支店福岡市博多区博多駅前3-2-8）は、九州管内での営業所が16店舗のネットワークになり、さらに年内に1～2店舗をオープン、5年以内には25店舗までに拡張する計画で「ユーザー様の要望に

スピーディに、正確に、率よく応えてまいりたい」と意欲を燃やしていらっしゃいました。

同社の小沼光雄社長は、「時代とともに刻々と変貌していくニーズ。そのためにも用意周到な製品、技術力とともに自由自在に対応できるネットワーク、デリバリー力をどれだけ整備できるかが使命と考えている」と述べており、同社は全国に22ヶ所の支店・事業所と283ヶ所の営業所と45ヶ所の工場を配置、より充実した環境を整えようと業務拡大を展開されております。

今後も九州エリアに於いて益々活躍していくと思われます。株式会社アクティオ様のご発展と八幡営業所、大分営業所、甘木営業所様のご活躍をお祈りいたします。

三笠建設機械株式会社九州営業所 大力記

太陽建機レンタル(株) 沼津、御殿場 2店舗オープン



沼津支店



御殿場支店

太陽建機レンタル株式会社様（本社・静岡市 西井戸邦彦社長）に於かれましては5月26日に沼津支店（静岡県



沼津市新沢田235 山内博喜支店長）をリニューアルオープン、続いて6月2日には御殿場支店（静岡県御殿場市杉名沢685の5福原直樹支店長）を新規オープンされました。

沼津支店のリニューアルに伴い、ご利用いただいているお客様の利便性がさらに拡大するとともに、新規オープンの御殿場支店は同社にとって全国で92店舗目、静岡県内では21店舗目にあたり、充実した商品ラインナップのみならず、ネットワークを活用したお客様本位の営業活動により、地場のお客様から大手ゼネコン様まで幅広く建設関連業種のお客様に対するサービスにさらに磨きがかかることと確信いたします。

沼津・御殿場の両支店のご活躍と太陽建機レンタル株式会社様の今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。

静岡課 小笠原記

三笠クイズ VOL.62

【問題】タテとヨコのかぎを解いて1～5の文字をつなげると、夏にふさわしいことが浮かんできます。さて何でしょう。

ヒント

ヨコのかぎ
ア、ダヴィンチ、ディカプリオといえば、日本のコメディアンで○○○○熊という人もいました。つけ。
イ、船を留めておくために綱や鎖につけて水底に沈めるおもり。
ウ、今日の次の日。○○○は○○○の風が吹く。
エ、事柄の表に現れない面。この事件には○○○がある。
オ、板などに小穴をあけるための道具。先のとがった細い鉄の棒を木の柄につけたもの。
カ、男の子供。ひとり○○○。

応募の方法 官製ハガキにクイズの答えと住所、氏名、年齢、職業(会社名)をお書きのうえご応募ください。正解者には抽選の上10名様に記念品を差し上げます。

●あて先 ⑤ 101-0064 東京都千代田区猿樂町1-4-3 三笠産業株式会社 「三笠ニュース」編集室

●締切り 2006年8月21日(月)消印有効

VOL.61の答えは「イチゴガリ」でした。次の10名様に図書カードをお送りしました。白尾慎介様(浜松市) 後藤泰子様(日田市) 岩淵明子様(西磐井郡) 長野剛様(水戸市) 沖山さゆり様(八丈島) 梅井悦子様(北秋田郡) 永澤宏子様(釜石市) 新里三枝子様(中頭郡) 佐々木千恵子様(駒ヶ根市) 柳川雄次様(大阪市)

ア	イ	ウ	エ	オ
1	2	3	4	5

タテのかぎ
A. 空間や平面に目的物の構成要素を配列すること。配置、配列。
B. 尻と頭。今日はめでたいから鯛の○○○付だ。
C. 夏休みになると○○○空港は海外に出かける人で混雑します。
D. 夏の旬の細長い魚。てんぷらにすると美味しい。
E. やや重い浮いたり沈んだりしながら流れてくるさまの形容。大きな桃が○○○と流れてきました。

氏名 飯田晋祐
入社 平成14年
出身地 兵庫県
所属 三笠建設機械株式会社 第二営業部 中国二課



——日頃どんな仕事をしていますか？

私は広島県と山口県の一部の営業を担当しています。今年の1月に大阪から広島に転勤なり、新しい環境で営業活動に励んでおります。

——今最も関心を持っていることは何ですか？

8月19日から日本でバスケットボールの世界選手権が開催されます。私は学生時代から約15年間バスケットボールを続けているのでとても楽しみにしています。各国のNBAで活躍するスーパースターが、日本で熱い戦いを見せてくれると思います。日本チームも広島で予選を戦います。他国との力の差はあるでしょうが、最後まで頑張りたいです。

バスケットボール選手のスピード、パワー、ジャンプ力など人間離れした動きに見た人は驚き、感動すると思います。日本で見られる機会はまたとない事なので皆さん是非見てください。
6月はサッカーでしたが、8月はバスケットボールで大いに盛り上がりましょう。

——お客様に一言どうぞ

営業部に配属になって2年目。まだまだ勉強中ですがお客様にはご迷惑をおかけしている事が多くあると思いますが、少しでもお客様の気持ちがかかる営業マンになれるよう努力していきますので、今後ともよろしくお願い致します。

我・ら・三・笠・ビ・ー・プ・ル・ズ



氏名 菊池優子
入社 平成17年
出身地 埼玉県
所属 三笠産業株式会社 品質管理部

——日頃どんな仕事をしていますか？

技術研究所で社内の各部門や工場への技術連絡書・変更通知書の作成・発行をしております。また、CAD図面及び、リストの修正その他庶務的な業務を担当しています。

——今最も関心を持っていることは何ですか？

釣りというか、魚に興味があります。去年の秋まで自宅で鮎を飼っていました。とてもデリケートな魚なので、非常に難しかったですが、とても面白い魚でした。最後は美味しくいただきました！皆さんも挑戦してみたいかがでしょうか？

先日八ヶ岳に行き、岩魚料理を食べましたが、岩魚も大変美味でした。今度は自分で薫製機を買って魚やハム、チーズなどを薫製してみたいと考えております。

埼玉県と群馬県の県境の利根川に、首都圏に水を送る利根大堰という取水堰があります。ここはガラス張りになった観察室があって、川を遡る稚鮎を見ることが出来ます。秋にはサケも見られるようです。暇な方、是非覗いてみてください。

——お客様に一言どうぞ

入社して1年が経ちました。初めての事務職でまだまだ勉強することがたくさんあります。お取引先の皆様にはご迷惑をお掛けすることがあると思いますが、これからも努力していきますのでよろしくお願い致します。